



2022年3月期 第2四半期 連結決算説明資料

2021年10月29日

証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2022年3月期第2四半期は“21F1”、2022年3月期は“21F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 恵比寿(えびす) TEL：076-275-4121

1.2022年3月期第2四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

2022年3月期第2四半期 決算概要

増収増益

戦略的な在庫積み増し、100%自社開発・生産の強みを活かし販売増加

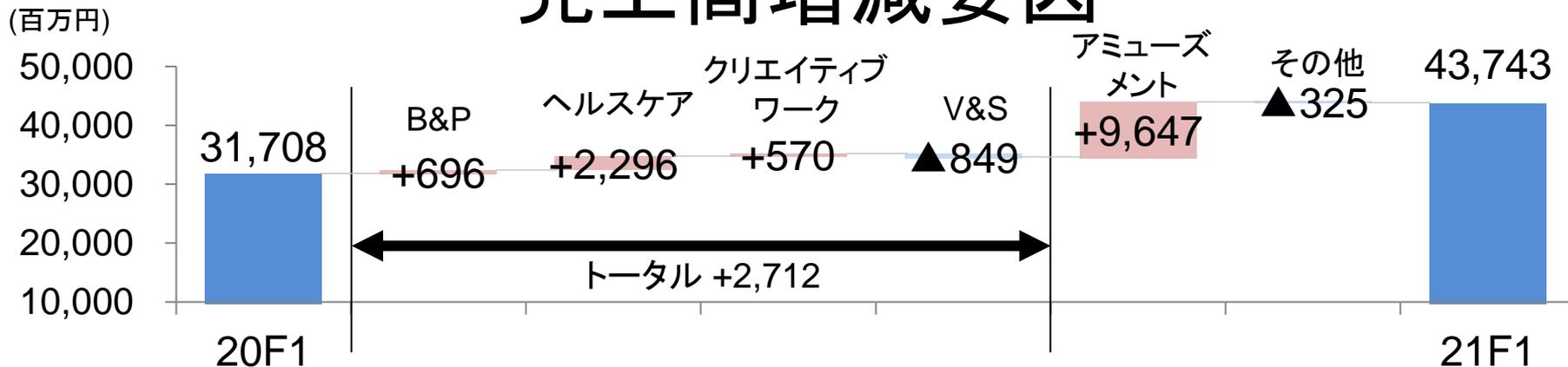
- 半導体需給が逼迫する中、戦略的に積み増した完成品・材料在庫に加え、100%自社開発・自社生産のビジネスモデルが柔軟な生産を可能にし、市場における競争優位に
 - B&P: 業界全体が半導体不足や材料調達コストの上昇による影響を受ける中、安定した価格での供給を継続したことで競争力を高め、増収及び売上総利益率向上
 - ヘルスケア: COVID-19による影響が徐々に緩和し、国内外ともに需要が回復基調
 - アミューズメント: 厳しい市場環境が継続する中、新規則機への入替えが進み、大幅に増収
- 営業利益は66.1億円(前年同期比 +51.3億円)と前年同期を上回る
 - 売上総利益率上昇(同 +4.0pt)
増収効果、高付加価値製品の販売増に加え、ユーロ高の進行がプラスに作用
 - 販売費及び一般管理費増加
前期抑制した広告宣伝費等の営業活動費用の増加、研究開発投資による

連結損益計算書

(百万円)

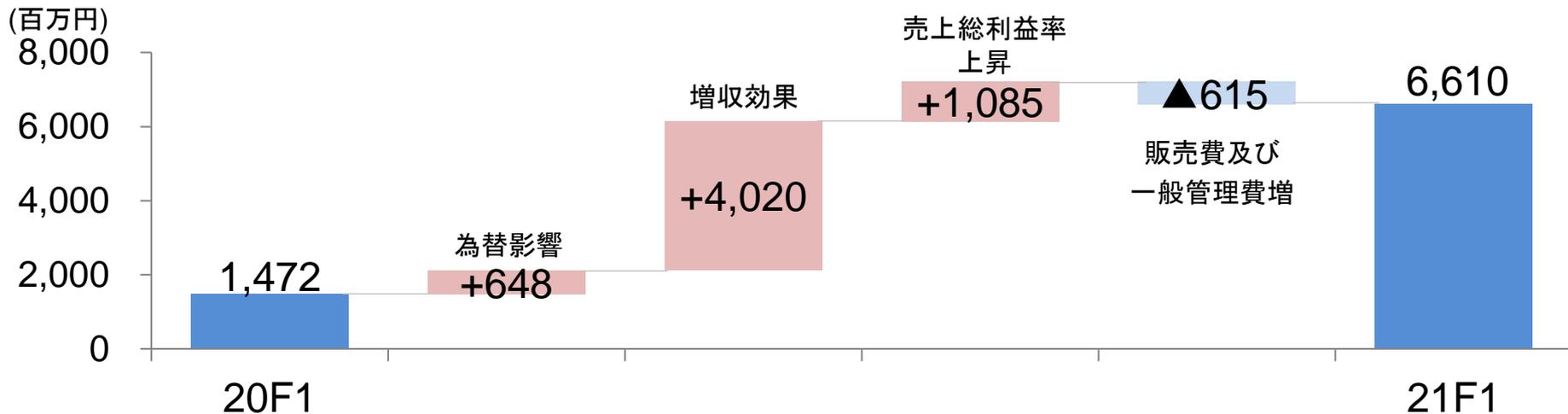
	20F1	21F1	前年同期比
売上高	31,708	43,743	138.0%
売上総利益	10,575	16,329	154.4%
売上総利益率	33.4%	37.3%	+4.0pt
販売費及び一般管理費	9,103	9,719	106.8%
営業利益	1,472	6,610	449.0%
営業利益率	4.6%	15.1%	+10.5pt
経常利益	1,998	7,034	352.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,345	5,152	383.0%
為替レート(上期平均):USD	106.93円	109.81円	+2.88円
為替レート(上期平均):EUR	121.34円	130.88円	+9.54円

売上高増減要因



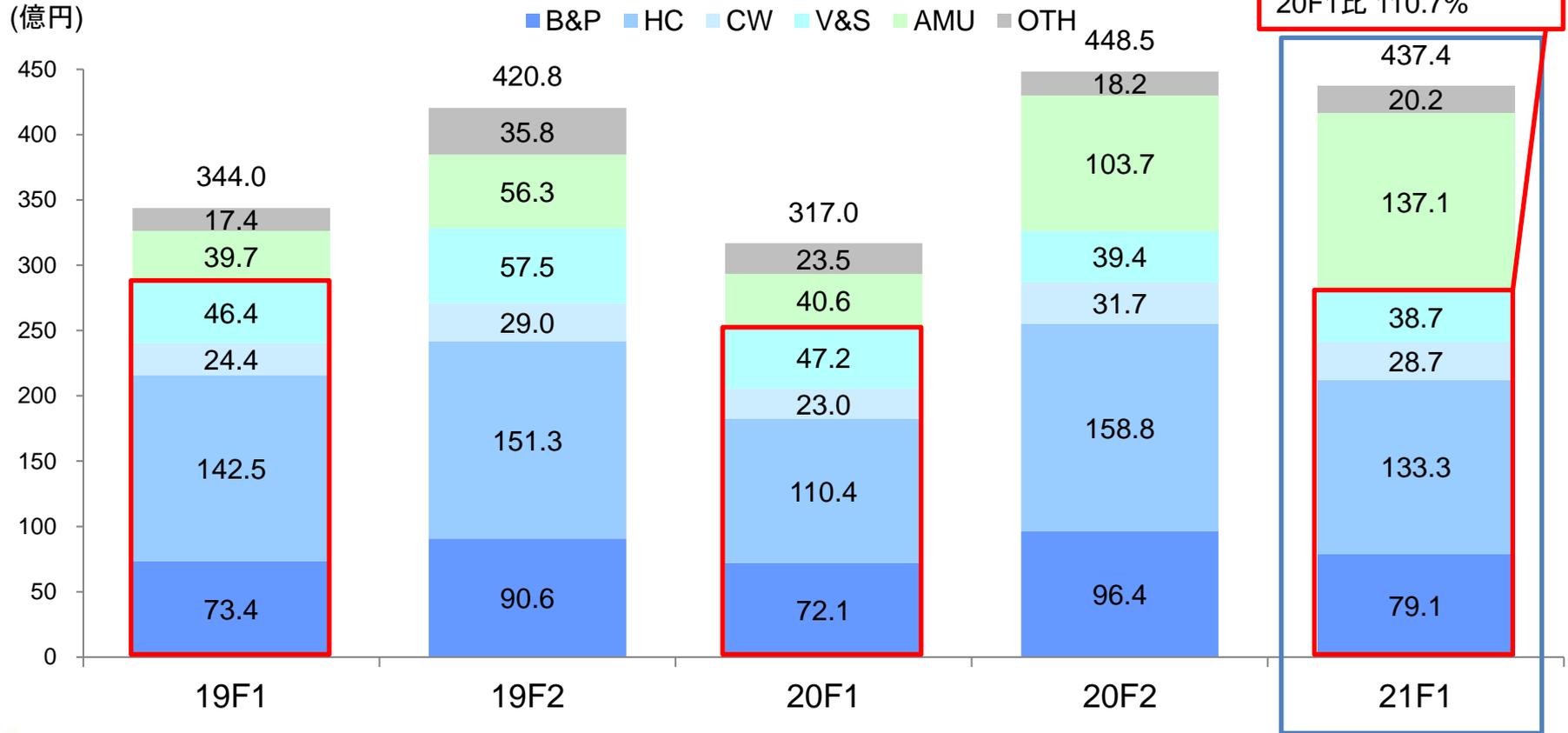
- B&P: 供給難の市況が継続する中、当社の安定供給が販売に寄与し、国内外ともに販売増
- ヘルスケア: 海外では、欧米での経済活動の正常化とともに診断用途の需要が底堅く推移
国内では、感染防止対策を徹底した医療の提供が進み、設備投資の回復基調が継続
- クリエイティブワーク: 欧州、北米、中国と幅広い地域で販売増加
- V&S: 国内で、前年同期に好調であった顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が一巡
- アミューズメント: 新規則機への入替えが進み、販売が大きく増加
- その他: アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少

営業利益増減要因

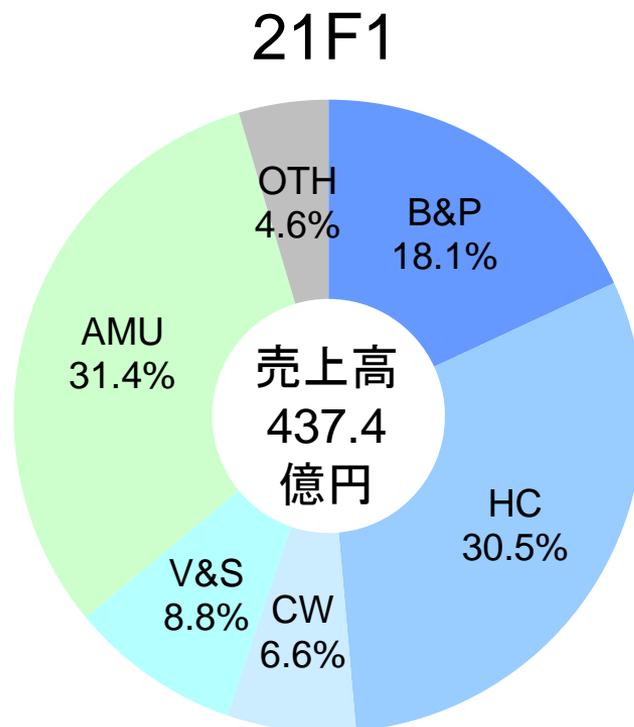
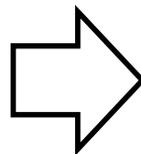
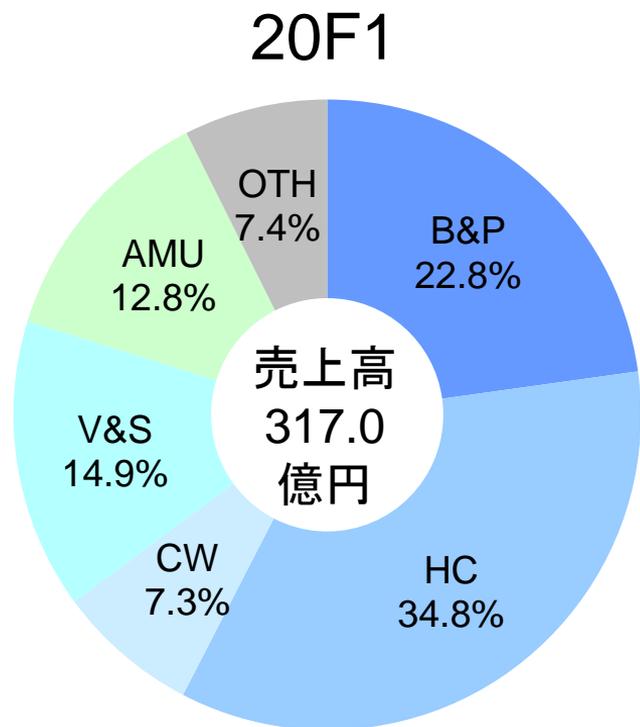


- 為替影響：円安ユーロ高で推移したことによる
- 増収影響：B&P・ヘルスケア・クリエイティブワーク好調に加え、アミューズメントが大幅増収
- 売上総利益率の上昇：高付加価値製品の販売が増加
- 販売費及び一般管理費の増加
：前期抑制した広告宣伝費等の営業活動費用の増加及び研究開発投資による

市場別売上高推移



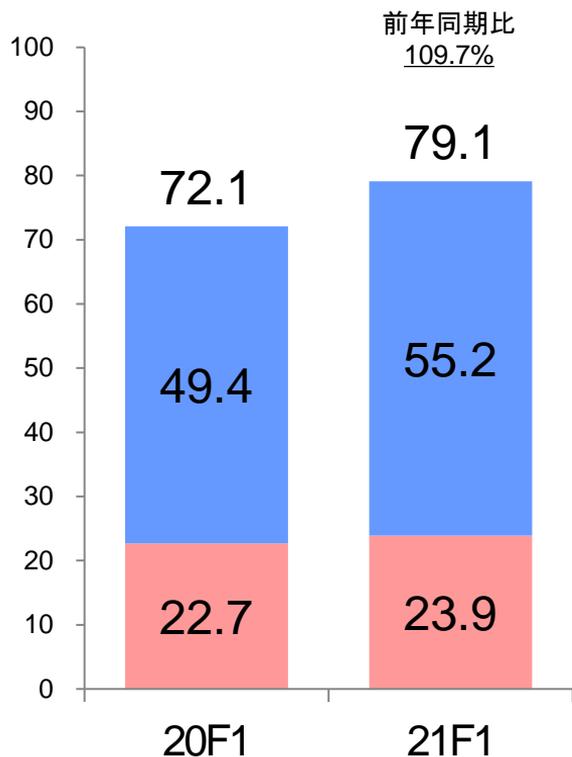
市場別売上高構成比



市場別売上高：B&P (Business & Plus)

(億円)

■ 国内 ■ 海外



- 国内外ともに、業界全体が半導体不足や材料調達コスト上昇の影響を受ける中、安定的な価格での供給を継続し、競争力を発揮
販売増加及び売上総利益率の向上に貢献
- 前期に販売を開始したウルトラワイド曲面モニターの市場評価が高く、販売が好調

海外

- 欧州では、IT投資ニーズが強く、大型モニターを中心に販売好調

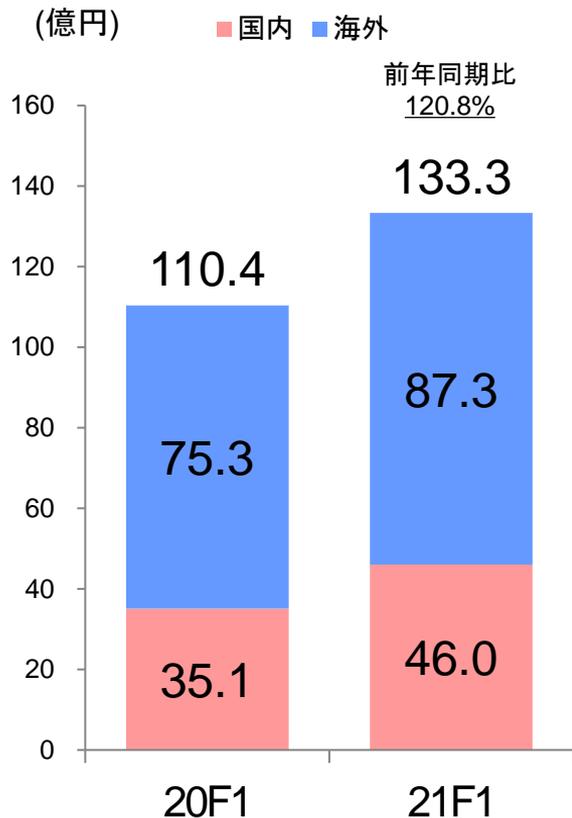
国内

- 法人の設備投資需要が回復基調
前年同期を上回る販売



FlexScan EV3895

市場別売上高：ヘルスケア



診断用途

- 海外では、欧米での経済活動正常化とともに需要が底堅く推移
- 国内では、感染防止対策を徹底した医療の提供やワクチン接種が進んだことにより、設備投資の回復基調が継続

手術室用途

- 国内販売が回復基調

内視鏡用途

- 国内外ともに、好調な販売が継続

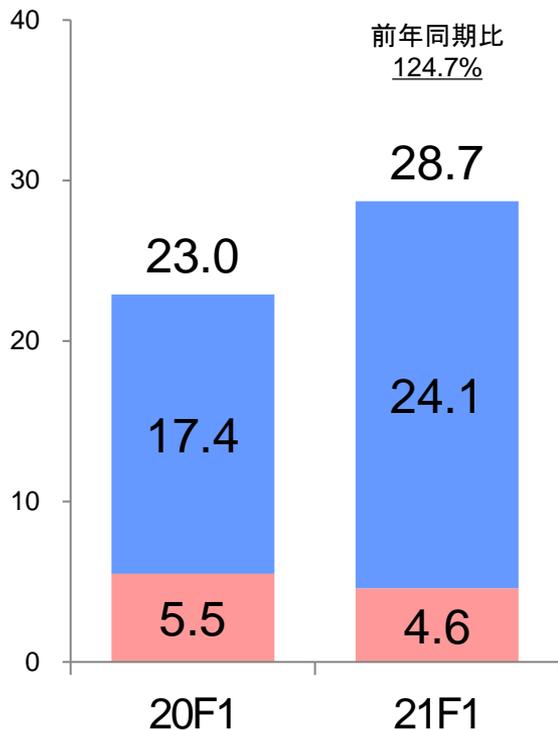


RadiForce® RX370

市場別売上高:クリエイティブワーク

(億円)

■ 国内 ■ 海外



海外

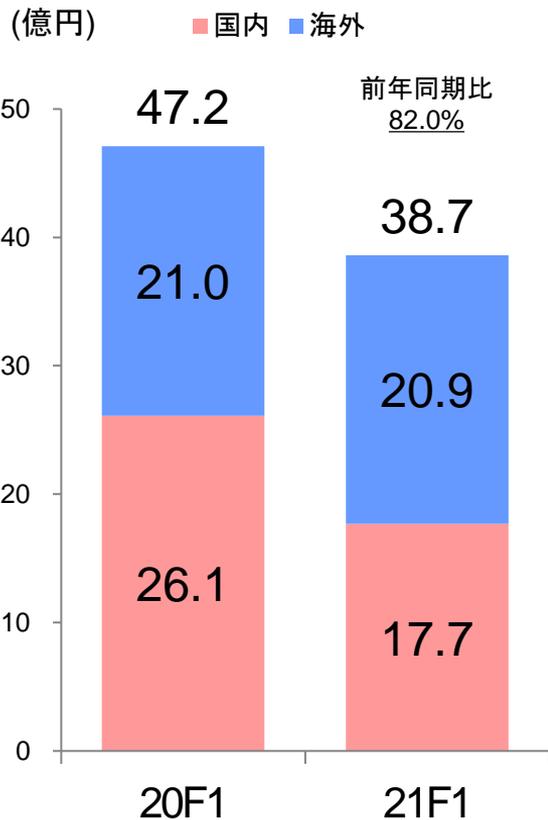
- 欧州では、HDR対応のハイエンドモデルが好調に推移
- 北米では、映像制作向けの需要が回復基調
- 中国での需要も増加

国内

- ゲームクリエイター向けのテレワーク需要を取り込んだ前年同期比で販売減少



市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)



航空管制用途

- 北米向け案件があった前年同期比で減少

船舶用途

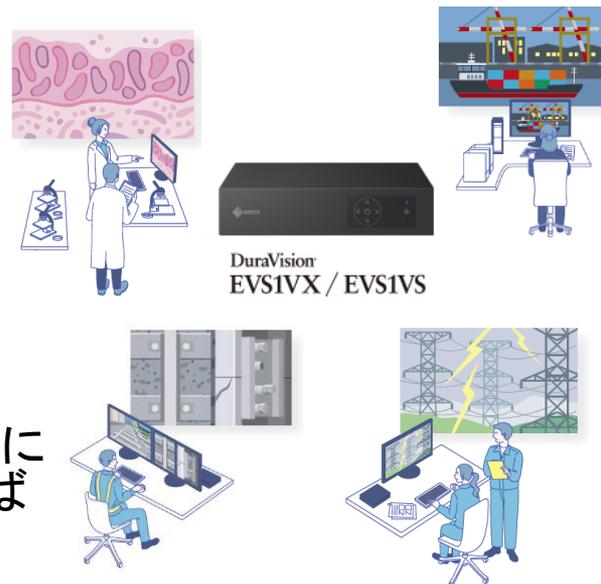
- 国内での販売が減少

セキュリティ・監視用途

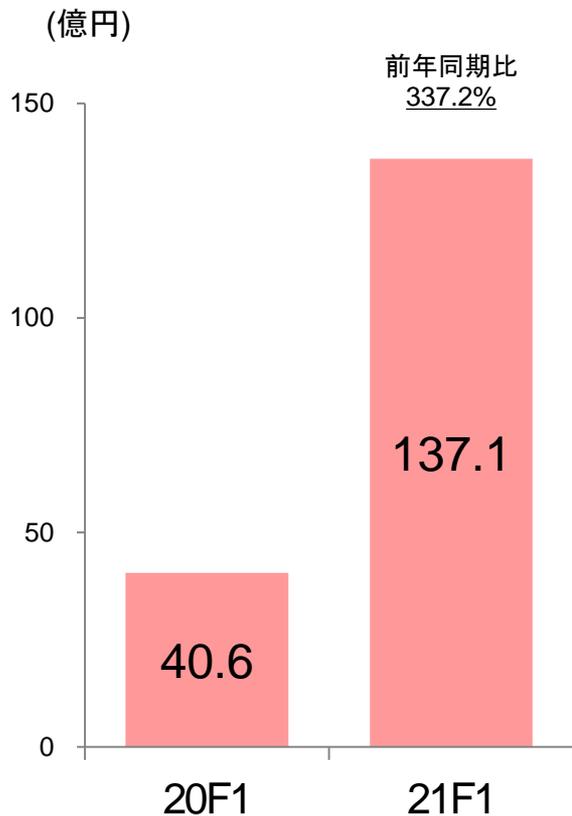
- IPソリューションの販売とともに徐々に販売回復するも道半ば

その他

- 国内では、各市場向けの需要が復調する一方で、顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が一巡
- 海外では、COVID-19の影響が継続し、自動車産業を始めとした各種産業向けの販売が低調



市場別売上高：アミューズメント



- 遊技人口の減少や規則改正の影響により、厳しい市場環境が継続
- 2018年2月施行の規則改正を受け、旧規則機は2022年1月末までに撤去される予定
- 21F1では、新規則機への入替えが進み、大幅増収



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	21年3月末	21年9月末	増減
流動資産	71,506	77,867	+6,360
現預金	9,382	13,815	+4,432
売掛金等 ※	19,412	20,273	+860
棚卸資産	31,247	30,026	▲1,220
有形固定資産	18,858	18,365	▲492
無形固定資産	2,430	2,291	▲139
投資その他の資産	57,266	63,336	+6,070
資産合計	150,061	161,861	+11,799
流動負債	17,929	20,279	+2,350
固定負債	17,679	19,059	+1,379
純資産	114,453	122,521	+8,068
負債純資産合計	150,061	161,861	+11,799

「収益認識に関する会計基準」

(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を当期首より適用

主な影響

アミューズメント用ソフトウェア受託開発について、前期末まで仕掛品(左表:棚卸資産)に計上していた顧客検収前のソフトウェア開発原価を当期首より契約資産(左表:売掛金等)にて計上(当受託開発に係る仕掛品前期末金額: 3,291百万円)

投資その他の資産

投資有価証券の時価上昇による

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	20F1	21F1	前年同期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	27.6	28.8	104.4%
売上高研究開発費率	8.7%	6.6%	▲2.1pt
	20F1	21F1	前年同期比
設備投資	19.9	6.5	32.8%
減価償却費	14.4	12.9	90.0%

研究開発費

新機種開発に向けた
研究開発投資が増加

設備投資

将来成長のための投資について
当初の計画通り実行

□ DX投資実行

新PLMシステム、CRMシステムを導入
設計～製造～販売までのIT基盤刷新

1.2022年3月期第2四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

2022年3月期 業績の見通し

(百万円)

	20F	21F計画	前期比
売上高	76,565	82,200	107.4%
売上総利益	26,551	28,900	108.8%
売上総利益率	34.7%	35.2%	+0.5pt
販売費及び一般管理費	18,616	19,800	106.4%
営業利益	7,935	9,100	114.7%
営業利益率	10.4%	11.1%	+0.7pt
経常利益	8,814	9,800	111.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,155	6,900	112.1%
為替レート(年平均):USD	106.10円	110.00円	+3.90円
為替レート(年平均):EUR	123.76円	128.00円	+4.24円
ROA	6.4%	-	
ROE	5.9%	-	

2021年5月11日公表値
から変更なし

- B&P、ヘルスケアを中心に
足元の需要が堅調に推移
- 一方で、一部材料の供給不足が発生
B&P市場向けを中心に21Q3において
一時的な生産調整を実施
 - 半導体需給逼迫の継続
 - 東南アジアのCOVID-19感染拡大による
現地仕入先の工場稼働低下

➡ 以上により、業績の見通しを据え置き

トピック①

東証新市場区分「プライム市場」を選択

- 東証(株式会社東京証券取引所)における市場区分の見直しにあたり、
当社は、**市場区分「プライム市場」を選択** (2021年7月、取締役会にて決議)
東証に対する新市場区分の選択申請に係る手続きを完了(2021年9月)
- ➡ 引続き、コーポレートガバナンスを一層強化するとともに、
持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努め、
企業理念である「映像を通じた豊かな未来社会の実現」に向けて取組む

トピック②

導入事例

手術映像記録・配信システムを導入 「撮影、記録、配信、表示」のトータルソリューション



- 東京医科大学病院では、新病院開院を機に手術映像記録・配信システムを最新バージョンである「ADMENIC V5」に更新

手術映像
記録・配信
システム
ADMENIC V5

手術室 計20室

録画・コントロール

- ・術野カメラ、モダリティ機器、電子カルテ映像のモニター表示操作
- ・これら映像を同期録画

サーバー室

記録・保管

- ・術中映像をサーバーに長期保管

モニター室、医局等

視聴・編集

- ・リアルタイム/過去映像視聴、ダウンロード
- ・複数の映像をマルチに表示・視聴

導入後

手術室内の映像コントロール スムーズな手術の進行に一役

複数の映像を1か所で操作でき、
術中の移動・動きを軽減
手を止めることなく円滑な進行に寄与

手術後に術中映像の 再確認が可能

手術後に複数の映像を再確認し、
術中の同時刻に何が起こっていたか
一度に把握できる

状況把握・確認が簡単に 効率化に貢献

1か所で全手術室分の映像が
モニタリングでき、
効率的な指示出しが可能に



トピック③

導入事例

監視・セキュリティ向けIPソリューションを導入 シンプルなシステムでIPカメラ(ネットワークカメラ)を接続・操作

- KDDI株式会社の新ネットワーク・サービス運用拠点に、
当社のIPデコーディングボックスと486台のモニターを導入

- 遠隔拠点のモニタリングにIPデコーディングボックス

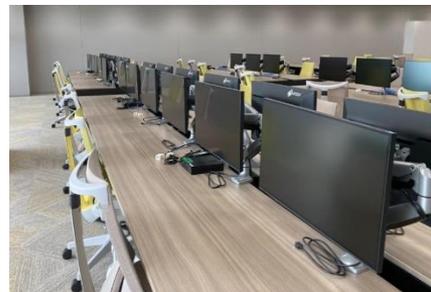
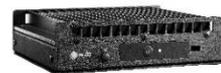
カメラ映像のモニター出力には、高性能PCを介することが一般的である中、
当社IPデコーディングボックスはIPカメラを直接接続でき、
PCレスのシンプルなシステム構成で高解像度カメラ映像の複数同時出力が可能

- 監視室のオペレータ用に大画面4Kモニター

大画面4K解像度モニターで、小さな文字や画像もシャープに見やすく表示
また、「Picture by Picture (PbyP)」機能により、複数のPCの情報を同時に表示
変化する多くの情報を、一度にかつ快適に参照しながらのオペレーションに対応



IPデコーディングボックス
DuraVision DX0211-IP

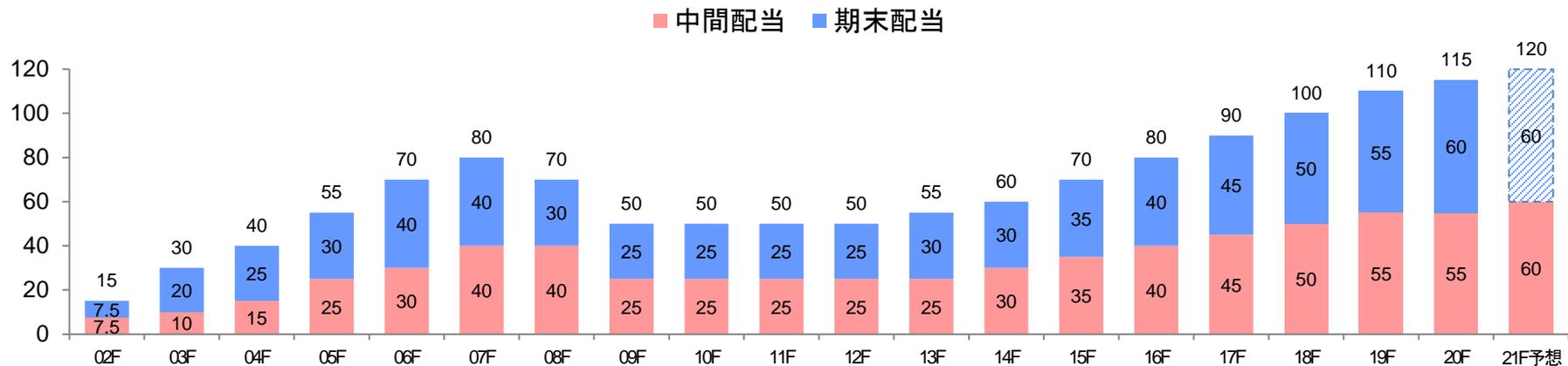


株主還元

●株主還元方針

(円 / 株)

- ・当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案し、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります
- ・株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準としております



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	37.1%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	37.1%

1.2022年3月期第2四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

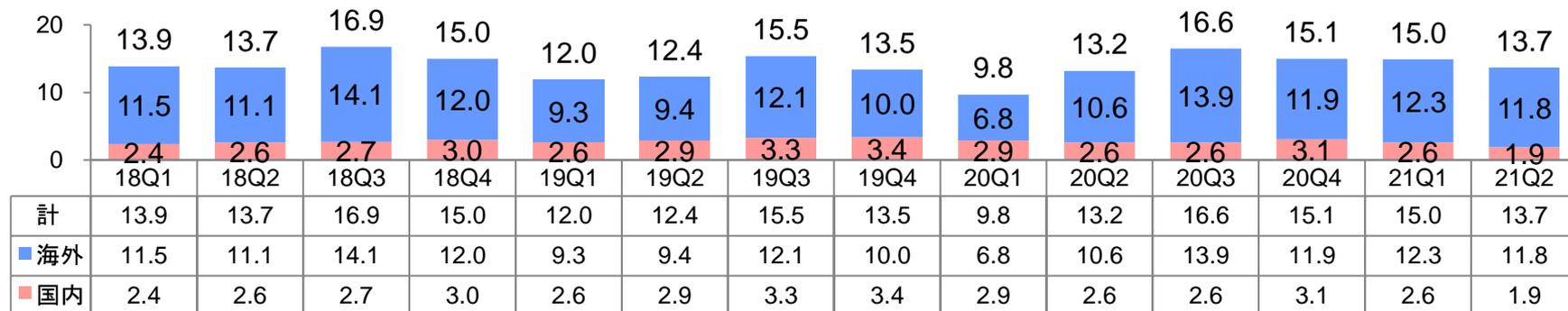


市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

■ 国内 ■ 海外



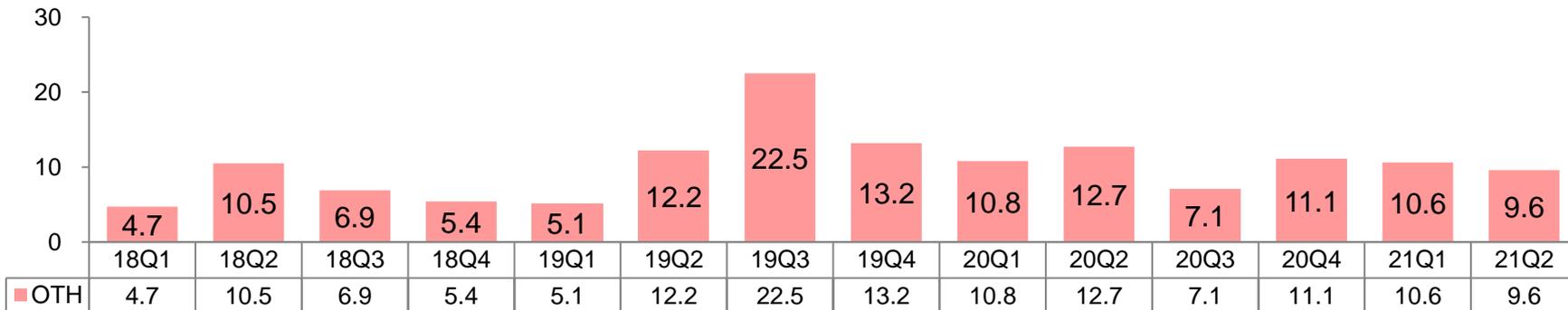
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

アミューズメント

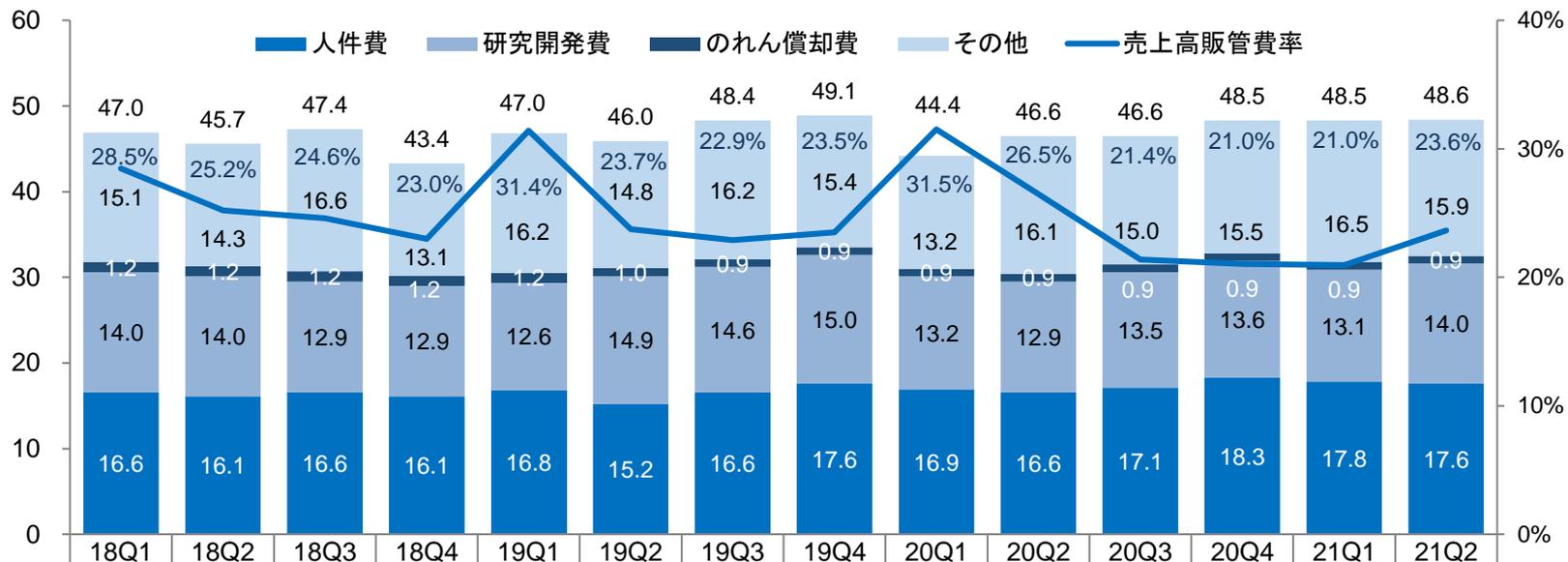


その他



販売費及び一般管理費推移

(億円)



計	47.0	45.7	47.4	43.4	47.0	46.0	48.4	49.1	44.4	46.6	46.6	48.5	48.5	48.6
その他	15.1	14.3	16.6	13.1	16.2	14.8	16.2	15.4	13.2	16.1	15.0	15.5	16.5	15.9
のれん償却費	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
研究開発費	14.0	14.0	12.9	12.9	12.6	14.9	14.6	15.0	13.2	12.9	13.5	13.6	13.1	14.0
人件費	16.6	16.1	16.6	16.1	16.8	15.2	16.6	17.6	16.9	16.6	17.1	18.3	17.8	17.6
売上高販管費率	28.5%	25.2%	24.6%	23.0%	31.4%	23.7%	22.9%	23.5%	31.5%	26.5%	21.4%	21.0%	21.0%	23.6%



Visit us online
www.eizo.co.jp